

○平塚市都市計画道路見直し計画(素案)に対する御意見及び市の考え方について

パブリックコメント実施概要

- (1) 意見の募集期間：平成24年1月10日(火)～平成24年2月10日(金)
- (2) 意見の送付方法：持参、郵送、FAX、Eメールにて受付及び地域説明会参加者からの意見
- (3) 意見提出状況：個人から4件 8項目、団体から1件 3項目 合計5件 11項目

<お問い合わせ>

平塚市まちづくり政策部まちづくり政策課都市計画担当
TEL 0463-23-1111(内線2429)
FAX 0463-23-9467
e-mail machi-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

◆平塚市都市計画道路見直し計画(素案)に対する御意見及び市の考え方について(1/3)

受領日・番号	項目	提出方法	意見	意見数	市の考え方
H24.2.10 1	見直し全般について	持参	<p>長期未着手の都市計画道路について、一定の基準(考え方)に基づいて見直しをしていくことには賛成。</p> <p>・都市計画道路区域内の建築物の建築には様々な制限が課せられており、都市計画道路が整備されずに建築制限だけ相当程度継続することは、区域内関係者にとって大きな負担である。</p> <p>・社会経済状況の変化や財政状況の見直し等に応じて、適時適切に見直しを図っていくことは大変重要である。</p>	1	御意見の内容は、本市の都市計画道路見直しの考え方と同趣旨と考えます。今後は、各個別路線ごとの課題の検討を行った上で、都市計画の手続きを進めていきます。
H24.2.10 2	見直し全般について	持参	<p>見直しにあたっては、短期・狭域的視点からだけではなく、将来を見据えた長期・広域的な視野に立ったの検討が不可欠である。</p> <p>・国道、県道、近隣市町の道路整備計画と連携、連動した計画の下に整備を推進していくべきである。</p>	1	御意見にあります長期的な視野の検討をするため、見直しの目標年次を平成22年4月に策定した「平塚市総合交通計画」にあわせ平成39年としています。また、広域的な視野の検討をするため、県の計画である「かながわの交通計画」、「かながわのみちづくり計画」との整合を図りながら、見直しを行っています。
H24.1.19 3	見直し全般について	持参	<p>平塚市都市計画道路の現状認識では平塚駅を中心とした放射線状に網羅した道路ネットワークが出来上がっている。しかし、歩行者・自転車・自動車の交通機能は充分果たされたとは言えず、交通渋滞が日中一時的にでも生じやすい道路環境といわざるを得ない。東西南北にまたがる交通網の整備をかけて計画したものの何年かかるかわからない事態というのが、現実である。その原因は見直しする基本的な考え方として必要性の検証項目のたて方に問題があるのではないかと。地域別の単位、つまり分割したブロック毎に各機能を重視しなければならない、必要性を見極めてゆく取捨選択がなされなければならないとする考え方である。当該道路でどんな機能を重視させるかまちづくりのための見直しと交通問題の解消にむけた提案ともリンクした協議が期待できるのではないだろうか。この点での問題解決に向けた土地利用の方向づけや本市の将来像とがマッチングした道づくりのための話し合いを必要としている。今まではあいまいな形でいくつかの機能を暗黙のうちに付与してきたといえいだろうか。また、業者による分譲地化のために急激に市街地化の勢いも出ている。周辺環境との調整なしに都市防災機能を無視した市街地化の進行には反対したい。合意形成を地元地域住民間で果たしてほしい。市民生活を営む平塚市民には生活道路の感覚になっている道路もある。彼らがその実情と見直しのポイントをおさえた討議が必要と考える。特に、一般道路含めた町内の道路幅は意外と狭いとする実態も報告されている。消防車が急行できるように道路整備していく視点も忘れてはならない。</p>	1	御意見にあります都市計画道路の担う様々な機能から必要性を検証するため、平成22年4月に策定した「平塚市総合交通計画」の都市計画道路見直し方針に沿って(ア)自動車の交通機能、(イ)路線バス(公共交通)の交通機能、(ウ)歩行者・自転車の交通機能、(エ)土地利用との整合、(オ)まちづくりとの整合、(カ)市街地形成機能、(キ)防災機能、(ク)環境機能、(ケ)代替機能、(コ)他事業との整合について、それぞれ必要性の評価を行っています。また、見直しの対象路線は道路機能が異なることや一部整備済の区間があることから、路線全体で評価するのではなく、道路機能や整備状況等を踏まえた路線区間ごとに行っています。今回のパブリックコメントはこの素案に対して広く市民の皆様御意見をいただくために行っています。なお、皆様にこの素案に対してより理解を深めて頂くために、3箇所の公民館で地域説明会を行っています。

◆平塚市都市計画道路見直し計画(素案)に対する御意見及び市の考え方について(2/3)

受領日・番号	項目	提出方法	意見	意見数	市の考え方
H24.1.21 4	追加路線について	地域説明会	都市マスタープランにある(仮称)平塚大神軸は都市計画決定されていないが、今後どうなるのか。	1	この路線は、ツインシティ計画に関連する都市計画決定されていない構想路線であり、ツインシティのまちづくりの進捗に応じ、別途個別に検討していきます。
H24.2.10 5	廃止候補平塚駅桃浜町線について	持参	平塚駅桃浜町線について、見直し計画素案に異議はありません。	1	今後は、各個別路線ごとに都市計画の手続きを進めていきます。
H24.1.21 6	廃止候補上平塚花水川橋線について	地域説明会	上平塚花水川橋線については、地域住民にとっては必要性も低く、廃止についても理解していると聞いている。ただし、既存宅地のところは良いのだが、都市計画道路の廃止に伴って生活道路がなくなってしまう土地が存在する。これについてはどうか。	1	接道が無い土地については、今後、代替の生活道路の整備を検討していきます。
H24.2.10 7	廃止候補上平塚花水川橋線について	持参	東日本大震災による津波被害を教訓に、交通量だけでなく、防災・災害対策の面からの検討も重要と考える。また、広域交通網の充実の観点での検討も重要と考える。 ・「上平塚花水川橋線」については、主要道路の補完および整備済区間との関連性ならびに周辺の土地利用状況(住宅の密集はない)より整備事業費も抑えられることにより、引き続き整備を目指していくべきと考える。さらに、その先、小田原厚木道路までを都市計画道路として、有料道路としての検討も含め都市計画決定されたい。	1	見直しでは、様々な視点から必要性を検証していますが、御意見の防災機能の観点からも必要性の検証を行っています。また、広域交通網の充実の観点での検討ということでは、広域幹線道路(長い距離の交通や通過交通量に対応し、自動車専用道路とともに広域的な交通軸を形成する道路)や都市内幹線道路(広域幹線道路を補完し市内の主要な拠点を結ぶ道路)は存続を基本としており、その上で、上平塚花水川橋線については、補助幹線道路(地域のサービスを担う道路)であり、交通機能や市街地形成機能、都市防災機能等の必要性が低下しており、並行して主要地方道平塚秦野線が位置しているなどの理由から必要性が低下した路線として廃止候補としています。小田原厚木道路までの延伸については、同等の機能を持つ路線として存続候補の平塚海岸秦野線が考えられ、この路線は「平塚市総合交通計画」で整備効果の高い路線として優先整備路線に位置付けており、整備に努めていきます。
H24.1.21 8	廃止候補平塚高校海岸線について	地域説明会	平塚高校海岸線に関しては、周辺の住民は西口や線路の北側に行く際には、黒部丘21号線かその更に1本西側の道路を利用している人が多い。特に21号線の1本西側の道路は、信号がないので、朝など抜け道として利用している通勤の人も多く、地元の人以外の利用もある。この路線は、あまり必要性を感じない。むしろ、21号線を整備すれば、利便性として良いのではないか。	1	今後は、個別路線ごとの課題の検討を行った上で、都市計画の手続きを進めていきます。

◆平塚市都市計画道路見直し計画(素案)に対する御意見及び市の考え方について(3/3)

受領日・番号	項目	提出方法	意見	意見数	市の考え方
H24.1.21 9	その他	地域説明会	平塚駅桃浜町線は、西口への朝晩の送迎で利用しているが、現況の幅員だとすれちがい等が大変なので、検討してもらいたい。利用者としては、駅の南側の住民が多いと思うが、線路より北側の人も地下道を利用して西口への送迎をしているのを見かける。この道路は、駅への送迎の際に一時停車しやすいので、利用する人が多いのではないか。もう少し、道路の線形がはっきりしていて、舗装もきちんとされていると走行しやすい。	1	この路線は平成22年11月に朝7時から夜7時まで、交通量調査を行っております。高校生の通学や送迎で利用されているという状況ではありますが、現道で対応が可能であるため、廃止候補としています。また、現道の路面の補修要望については、今後の補修計画の参考とさせていただきます。
H24.2.10 10	その他	持参	平塚駅桃浜町線について、多方面の人が本道路を利用していますので、補修などを要望します。①通勤時間帯は多くの平塚工科高校生などが本道路を利用している。②通勤時間帯には、西海岸方面から、多くの家族が送迎に本道路を利用している。③木橋以西の車も、本道路を利用しての送迎も考えられる。④JR線路以北の車も本宿地下道をなどをくぐり、本道路を利用し平塚駅西口南側に来ている。(平塚駅西口北側は、送迎時間帯はラッシュで車を着けにくいからと推定) 補修要望項目 ①歩道部分の存続(売却などで歩道がなくならないように)。②桃浜町4-36近くのT字路の雨水側溝、雨水柵、歩道などの凹凸解消。③雨水側溝周辺の段差解消(凹部解消)。④歩道部分の舗装(雨天時は未舗装の歩道を避け、舗装された車道を歩行している人も多い)。	1	御意見にあります補修要望については、今後の補修計画の参考とさせていただきます。
H24.1.21 11	その他	地域説明会	平塚駅桃浜町線は、現道の幅員が6m~8mまで幅があるが、例えば8mに合わせて整備するのか。	1	この路線は、センターラインがあり、相互交通が可能のため、拡幅等の整備は行わない予定でおりますが、歩道がありませんので、現道の範囲内で安全な歩行空間の確保について検討が必要と考えています。